

# スロベニア・リュブリャナ大学 留学報告

農学研究科 応用生物科学専攻 2年 小島 祥子

○留学先 : (スロベニア・リュブリャナ) リュブリャナ大学・バイオテクノロジー学部

○留学期間 : 平成23年3月上旬 ~ 平成23年8月中旬 (後期: 2月中旬~6月下旬)

○渡航時の学年: 大学院1年次

## ○渡日前の手續について

### ・留学に至った経緯について:

海外で生活することは、小さい頃からの夢でした。

大学3年生の時に、カナダの環境保全ボランティアに2週間だけ参加しましたが、やはり「本格的に現地の人と生活してみたい」という思いが強くなり、「留学したい」と思うようになりました。

留学するなら自分の専門を通して勉強したかったため、宮大提携校との交換留学を選びました。

### ・大学での手續について:

国際連携センター: 交換留学希望の申し出

日本学生支援機構(第一種): 留学中の奨学金継続願い(学生支援課を通して)

### ・査証取得:

申請先: 在日スロベニア大使館

申請時期: 出国の2か月前までにすべて揃えて提出

必要書類: ※おおまかに、私が提出したものを挙げます。これはあくまでも、一例です。

#### ① 犯罪経歴証明書

申請場所: 外務省

必要書類: 犯罪経歴証明書、アポスティーユ申請書、身分証明書、旅券予定表

#### ② ビザ申請書

#### ③ 写真2枚

#### ④ パスポート原本

#### ⑤ 入学許可証の原本

#### ⑥ 留学中の収入を証明するもの

残高証明書、扶養証明書(公証役場)、奨学生証、奨学生証の英訳・など

#### ⑦ 海外保険証明書

#### ⑧ 渡航のスケジュール(英語)

#### ⑨ 戸籍謄本

※ひとつの書類を手に入れるまでに、多数の書類が必要となります。十分すぎるくらいの余裕をもって、申請に臨むことをおすすめします。

## ○留学体験記:

## ～宮大生のための交換留学～

**生活費** ※1ユーロ=115円 (2011年5月20日現在)

渡航費・10～20万円

寮費・約1万円/月

物価は、日本とほとんど変わらないと思います。果物・野菜・カフェの飲み物は安かったです。

街のレストランの多くが、学生専用メニューを設けていて、200～400円でバランスのとれた食事ができます(量も多い)。



サラダ、スープ、デザートが付いて400円くらい(学生専用メニュー)



ショッピングセンター内の大きなスーパー、日本の食材も買える(米、カップラーメン、そば、うどん、調味料など)

### 寮の環境

ほとんどの寮が2人部屋。

8畳ほどの部屋(ベッド、勉強机、クローゼット、棚)。

キッチン・トイレ・シャワー・冷蔵庫は数人で(もしくはフロアで)共同。

シーツや布団は借りられる。

水道水は飲料可。

暖房設備は整っている(冬は寮内全体が常にあたたかい)。

冷房はないが、建物の風通しがよく、夏も快適。

## ～宮大生のための交換留学～

一つの寮（学生200人くらい）に洗濯機と乾燥機が一台ずつしかなく、洗濯できるのは週1程度。

スロベニア人学生のほとんどは、毎週末帰省するため、週末はほとんど人がいない。

セキュリティーの心配はない。

とても快適。



手前は、寮の敷地内にあるビーチバレーコート

奥の建物が寮

この敷地には、全部で14個の寮がある

### 大学のサポート状況

学部から紹介されたチューターがいるが、一度も会いませんでした。

担当の事務室やスタッフはありません。

私の場合、研究室の先生や学生がとてもよくお世話してくれました。

International Officeは主に、留学生向けのイベントを企画・主催してくれる組織で、毎日何かしらイベントを開いています（パーティ、ワークショップ、遠足、映画鑑賞会、エクササイズなど）。特に週末の小旅行やツアーは、スロベニア国内・国外を含め充実していました（費用も安い）。

### 授業の様子

授業は取りませんでした。

不定期に開かれるワークショップや講演会に参加した印象は、先生と生徒がフレンドリーで、雰囲気明るい。

先生同士も仲が良く、アットホームな学部でした。

## ～宮大生のための交換留学～



バイオテクノロジー学部

### 他の留学生たちの様子

大学全体で120人くらいの留学生がいるそうです。

普段の学部生活で、留学生との接点はあまりないが、留学生のイベントに参加すれば、いろんな国の人と友達になれます。

スペイン、ドイツ、ポーランド、アメリカ、フランス、ロシア、イタリア、クロアチア、リトアニア、カナダ、オーストリア、フィンランド、ギリシャ、南アメリカ、中国、韓国  
…この他にもいろんな国から来ていました。

同じ国から来た人で固まっている場合が多いけど、入っていけば快く受け入れてくれます。英語ができる人、あまりできない人、関係なしに仲良くなれる。明るくて楽しい人たちばかり。



International Office 主催のボスニア・ヘルツェゴビナ旅行（3泊3日）

## ～宮大生のための交換留学～

### 現地学生との交流

私の研究室では、20人以上の学生が実験を行っていました。  
みんな英語がうまく、とても親切に実験を教えてくださいました。  
また、ルームメイトがスロベニア人なので、一緒にご飯を作ったり、パーティやコンサートに行ったりしました。  
寮では、毎日音楽やパーティの音が聞こえる・スロベニア人はとても陽気。  
散歩やランニングをしたり、外でのんびりするのが好きみたい。

### 街の様子

寮から街の中心地まで徒歩で20分程度。バスを使うと5分もかからない。  
街はコンパクトなので、歩いて移動するので十分。  
Ljubljana という川沿いにカフェが立ち並び、のんびり過ごせます。  
春になると観光客が一気に増えました。  
寮から徒歩10分かからない場所にスーパーがあり、なんでも揃う。  
家具や電気製品などは、バスで30分ほどのショッピングセンターに行くと揃う。  
寮のすぐそばには、大きくてきれいな公園があり、散歩やピクニックに最適。  
バイオテクノロジー学部は、中心部とは逆方向に徒歩で20分の場所にあり、周りは住宅地と畑が広がっていました。



Ljubljana の街

～宮大生のための交換留学～



奥の丘の上が、Ljubljana 城



青空市場

その他

街や自然が美しく、人があたたかい。

ちいさいけれど、すてきなものが詰まっている国、SLOVENIA。

## ～宮大生のための交換留学～

### ○帰国後について

- ・派遣先で単位を取得しましたか？（した ・ しなかった）
- ・派遣先で取得した単位は宮崎大学で認定されましたか？（された ・ されなかった）  
※これから申請される方は審査終了後、報告してください。）

### ○今後、留学を希望する宮大生のみなさんへ

#### 査証について

出発の2か月前までに、書類をすべて揃えて大使館に提出しなければなりません。

スロベニア大使館は東京にあり、とても小さな事務所です。スタッフが少なく、連絡をとるのも、審査をするのも、結構手間取ります。しかも入国の許可をもらうためには、必要な書類すべてをスロベニア本国へ送らなければ、許可が下りないそうです（大使館は書類を確認して本国へ送るだけの役割）。そのために、大使館に提出する書類は、可能な限り早めに揃えるようにしましょう。

※東京か大阪に行かなければ手に入らない書類もあるので、想像以上に時間とお金がかかります。

私は、査証が間に合わず、出発を延期しました。

このとき航空券を変更したので、変更料が痛かったです。

始業日に到着できなかったことも、その後の留学生活に大きく響いたと思います。